

普天間基地の即時・無条件撤去を求めるアピール

沖縄の地で基地撤去・平和を守るために奮闘されている皆様に心よりの連帯と敬意を表します。

民主党は先の総選挙で『普天間基地はできれば国外、最低でも県外』を公約し、国民はそれを信じて政権交代を実現しました。しかし、鳩山首相は「5月末」期限がせまるも、「迷走」を繰り返したあげく、キャンプシュワブ陸上案・徳之島案など沖縄県内たらいまわしをすすめるようとしています。重大な公約違反であり、断じて許すわけにはいきません。

沖縄県議会は全会一致で、県内41市町村長のすべてが「県内移設反対」を表明。沖縄県民の民意は「移設条件なしの撤去」となっています。危険な米軍基地は、もう日本のどこにもいません。

鳩山首相は移設先を検討するのではなく、民意をうけてアメリカに対してきっぱりと基地撤去を申し入れるべきです。

4月25日に開かれる県民大会の大成功を心からお祈り申し上げます。寝屋川からも代表が参加します。

私たちは、沖縄の基地問題を、日本の平和の課題として心をひとつにして連帯してたたかうことを決議するものです。

2010年4月22日

進歩と革新をめざす寝屋川市民懇話会（寝屋川革新懇）

世話人代表 向江 強